

【 検 査 】**672 α -フェトプロテイン（AFP）（胃癌疑い）の算定について****《令和7年9月30日》****○ 取扱い**

胃癌疑いに対するD009「2」 α -フェトプロテイン（AFP）の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

腫瘍マーカーは悪性腫瘍細胞から産生される蛋白で、細胞が癌化しない場合の上昇は少ない。

胎児性蛋白であるAFPは、肝細胞癌やヨークサック腫瘍等で特異的に高値を示す。

以上のことから、胃癌疑いに対するD009「2」 α -フェトプロテイン（AFP）の一律の算定は、原則として認められないと判断した。

ただし、AFP産生胃癌の頻度は全胃癌の1.5～5.4%程度あり、脈管侵襲が高度で、高率に肝転移やリンパ節転移を来し、生物学的悪性度の高い予後不良な胃癌であることから、胃癌のうちAFP産生胃癌を疑わせる傷病名や医学的に妥当なコメントがある場合には個別に判断することとした。